

第2章 病気の予防と療養支援

第1 生活習慣病予防

本格的な高齢化社会を迎える中で、壮年期からの疾病予防、健康づくりは、区の重要な施策の一つとして区民の健康づくりに役立っている。この施策を推進するため、各種検診等を実施している。

1 乳がん検診

平成8年度開始。平成16年度からマンモグラフィーを導入し検診機関に委託して実施している。(女性特有のがん検診推進事業に基づく乳がん検診受診者も含む。)

	受診者数	要精検数	精検受診	精検未受診	精検受診不明(未把握)	精密検査結果				
						異常なし	がん	疑い	乳がん以外の疾患	精検結果未確定
平成25年度	4,267	525	210	21	294	104	9	6	85	6
平成26年度	4,775	507	146	23	338	53	7	5	74	7
平成27年度	5,841	574	177	28	369	65	6	6	96	4
平成28年度	5,539	636	232	1	403	92	8	7	115	10
平成29年度	4,766	615	262	-	353	108	9	14	119	12
40～44歳	1,417	174	66	-	108	27	1	5	28	5
45～49歳	757	128	57	-	71	21	3	2	29	2
50～54歳	834	100	44	-	56	19	1	2	21	1
55～59歳	513	50	22	-	28	10	1	-	11	-
60～64歳	360	45	22	-	23	12	-	2	7	1
65～69歳	345	47	22	-	25	6	3	1	11	1
70～74歳	323	39	16	-	23	8	-	1	6	1
75～79歳	150	23	10	-	13	4	-	1	4	1
80歳以上	67	9	3	-	6	1	-	-	2	-

2 子宮がん検診

原則として20歳以上の区民を対象に、地区医師会に委託して無料で実施している。

(女性特有のがん検診推進事業に基づく子宮がん検診受診者も含む。)

	受診者数	要精検数	精検受診	精検未受診	精検受診不明(未把握)	精密検査結果				
						異常なし	がん	疑い	子宮がん以外の疾患	精検結果未確定
平成25年度	8,505 (670)	175 (11)	84 (-)	- (-)	91 (-)	18 (-)	2 (-)	64 (-)	- (-)	- (-)
平成26年度	9,380 (908)	259 (13)	131 (8)	- (-)	128 (5)	43 (5)	5 (1)	18 (1)	65 (1)	- (-)
平成27年度	9,536 (763)	201 (13)	90 (5)	- (-)	111 (8)	29 (3)	4 (1)	16 (1)	41 (-)	- (-)
平成28年度	8,566 (589)	204 (15)	112 (8)	- (-)	92 (7)	27 (8)	- (-)	20 (-)	65 (-)	- (-)
平成29年度	7,701 (530)	190 (13)	123 (10)	- (-)	67 (3)	4 (10)	1 (-)	45 (-)	73 (-)	- (-)
20～24歳	505 (2)	18 (-)	9 (-)	- (-)	9 (-)	1 (-)	- (-)	6 (-)	2 (-)	- (-)
25～29歳	718 (3)	26 (-)	18 (-)	- (-)	8 (-)	- (-)	- (-)	3 (-)	15 (-)	- (-)
30～34歳	1,332 (25)	50 (-)	36 (-)	- (-)	14 (-)	- (-)	- (-)	10 (-)	26 (-)	- (-)
35～39歳	922 (36)	27 (-)	18 (-)	- (-)	9 (-)	2 (-)	- (-)	7 (-)	9 (-)	- (-)
40～44歳	1,005 (107)	23 (4)	13 (3)	- (-)	10 (1)	1 (3)	- (-)	4 (-)	8 (-)	- (-)
45～49歳	747 (130)	14 (2)	9 (2)	- (-)	5 (-)	- (2)	- (-)	4 (-)	5 (-)	- (-)
50～54歳	751 (128)	13 (4)	8 (2)	- (-)	5 (2)	- (2)	- (-)	5 (-)	3 (-)	- (-)
55～59歳	412 (40)	7 (1)	3 (1)	- (-)	4 (-)	- (1)	- (-)	1 (-)	2 (-)	- (-)
60～64歳	391 (24)	7 (-)	6 (-)	- (-)	1 (-)	- (-)	- (-)	4 (-)	2 (-)	- (-)
65～69歳	341 (15)	2 (2)	1 (2)	- (-)	1 (-)	- (2)	1 (-)	- (-)	- (-)	- (-)
70～74歳	334 (14)	2 (-)	2 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (-)	1 (-)	- (-)
75～79歳	140 (4)	1 (-)	- (-)	- (-)	1 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
80歳以上	103 (2)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)

* () は体がん検診受診数

3 胃がん検診

地区医師会に委託して、胃部エックス線検査は、昭和50年度以前から、胃内視鏡検査は、平成29年度から無料で実施している。

(1) 胃部エックス線検査

	受診者数 (1) = (2)+(3)+(4)	異常なし (2)	要精密 検査 (3)	経過 観察 (4)	要精密 受診者	精検受診者診断結果								
						異常なし	胃がん	疑い	胃潰瘍	胃炎	ポリープ	その他	検査中	
平成25年度	7,573	5,995	448	1,130	218	49	9	1	18	78	35	23	5	
平成26年度	7,641	6,016	427	1,198	181	33	5	-	15	62	33	33	-	
平成27年度	7,744	6,001	442	1,301	199	30	6	7	7	80	34	35	-	
平成28年度	6,653	4,862	406	1,385	273	23	8	4	12	112	49	64	1	
平成29年度	4,803	3,399	302	1,102	180	36	5	-	7	77	28	24	3	
計	男	2,044	1,507	143	394	87	18	3	-	5	37	11	11	2
	女	2,759	1,892	159	708	93	18	2	-	2	40	17	13	1
40～44歳	男	305	245	9	51	8	1	-	-	4	1	1	1	
	女	546	383	15	148	5	-	-	1	2	2	-	-	
45～49歳	男	202	159	8	35	5	2	-	-	1	1	-	1	
	女	398	258	23	117	12	3	-	-	3	4	2	-	
50～54歳	男	144	107	10	27	6	1	-	-	2	2	1	-	
	女	213	130	12	71	9	-	-	-	2	4	3	-	
55～59歳	男	184	138	9	37	5	1	-	1	3	-	-	-	
	女	256	187	14	55	10	3	-	-	3	-	4	-	
60～64歳	男	169	114	12	43	8	1	-	-	3	2	2	-	
	女	239	160	13	66	6	2	-	-	2	1	1	-	
65～69歳	男	364	250	27	87	14	3	-	2	4	4	1	-	
	女	380	256	29	95	17	2	1	-	10	2	1	1	
70～74歳	男	296	225	27	44	17	6	2	-	8	1	-	-	
	女	288	205	21	62	13	2	1	-	8	1	1	-	
75～79歳	男	234	167	23	44	11	2	1	-	5	1	2	-	
	女	241	179	15	47	9	2	-	-	7	-	-	-	
80歳以上	男	146	102	18	26	13	1	-	1	7	-	4	-	
	女	198	134	17	47	12	4	-	1	3	3	1	-	

(2) 胃内視鏡検査

		受診者数	胃内視鏡検診結果				要精検者数	精密検査 の受診		精検受診者診断結果				
			胃がんなし	胃がん疑い	胃がんあり	胃がん以外の悪性病変		精検受診	精検受診不明	異常なし	胃がん	胃がんの疑い	胃がん以外の疾患	精検結果未確定
平成 29 年度		7,912	7,608	250	20	34	497	455	42	334	45	8	62	6
計	男	3,318	3,154	138	10	16	256	231	25	172	26	5	25	3
	女	4,594	4,454	112	10	18	241	224	17	162	19	3	37	3
50～54 歳	男	541	529	12	-	-	18	17	1	17	-	-	-	-
	女	831	815	10	1	5	30	26	4	20	2	-	4	-
55～59 歳	男	399	387	10	-	2	22	20	2	18	-	-	2	-
	女	561	549	11	-	1	22	20	2	17	1	-	2	-
60～64 歳	男	444	427	16	-	1	31	28	3	22	2	-	3	1
	女	583	570	13	-	-	24	21	3	16	2	-	3	-
65～69 歳	男	559	519	32	2	6	55	48	7	39	1	2	6	-
	女	744	731	10	2	1	28	26	2	17	3	-	6	-
70～74 歳	男	586	554	24	5	3	57	52	5	29	11	1	10	1
	女	735	711	18	2	4	41	40	1	26	3	1	8	2
75～79 歳	男	409	382	23	-	4	41	37	4	32	4	-	1	-
	女	565	541	18	1	5	35	33	2	24	1	1	7	-
80 歳以上	男	380	356	21	3	-	32	29	3	15	8	2	3	1
	女	575	537	32	4	2	61	58	3	42	7	1	7	1

※対象者は偶数年齢になる 50 歳以上の者

受診間隔は 2 年に 1 回

4 大腸がん検診

免疫便潜血検査(2日法)による検診を、40歳以上の区民を対象に平成元年度から無料で実施。検診は地区医師会に委託して実施した。

	受診者数 (1)= (2)+(3)	異常なし (2)	要精密者数 再検査・ 要精密者数 (3)	経過観察	精密受診者	有所見者数										
						異常なし	大腸がん	大腸がん疑	大腸ポリープ	大腸潰瘍	大腸憩室	大腸炎	大腸粘膜下垂腫	その他	検査中	
平成25年度	20,487	18,794	1,693	1,003	690	192	40	4	213	1	39	11	12	178	-	
平成26年度	20,622	18,803	1,819	1,089	730	231	46	6	218	2	32	7	2	186	-	
平成27年度	21,235	19,369	1,866	1,075	791	214	33	5	260	4	42	7	4	222	-	
平成28年度	20,836	19,140	1,696	900	796	198	46	17	244	11	36	7	-	237	-	
平成29年度	20,536	18,825	1,711	850	861	175	33	33	223	11	43	8	1	334	-	
計	男	7,632	6,848	784	397	387	66	16	18	110	5	18	2	-	152	-
	女	12,904	11,977	927	453	474	109	17	15	113	6	25	6	1	182	-
40～44歳	男	496	460	36	24	12	2	-	2	3	1	1	1	-	2	-
	女	848	785	63	43	20	5	-	-	4	-	-	1	1	9	-
45～49歳	男	431	402	29	17	12	3	-	-	1	-	-	1	-	7	-
	女	729	685	44	30	14	3	-	1	1	-	2	1	-	6	-
50～54歳	男	454	423	31	22	9	1	-	-	2	-	-	-	-	6	-
	女	772	721	51	32	19	3	-	1	1	2	2	-	-	10	-
55～59歳	男	498	455	43	20	23	2	-	1	8	-	-	-	-	12	-
	女	902	849	53	28	25	6	1	-	10	-	-	1	-	7	-
60～64歳	男	590	532	58	31	27	2	-	-	7	1	1	-	-	16	-
	女	1,063	1,005	58	21	37	13	1	-	5	2	1	-	-	15	-
65～69歳	男	1,211	1,101	110	52	58	12	3	2	15	2	4	-	-	20	-
	女	1,880	1,767	113	55	58	12	5	5	17	-	4	1	-	14	-
70～74歳	男	1,319	1,188	131	60	71	11	4	2	25	-	5	-	-	24	-
	女	2,010	1,872	138	57	81	19	2	3	19	1	6	1	-	30	-
75～79歳	男	1,144	1,011	133	66	67	11	6	7	17	1	2	-	-	23	-
	女	1,946	1,818	128	47	81	20	3	3	25	-	4	1	-	25	-
80歳以上	男	1,489	1,276	213	105	108	22	3	4	32	-	5	-	-	42	-
	女	2,754	2,475	279	140	139	28	5	2	31	1	6	-	-	66	-

5 健康診査

平成 20 年度より特定健康診査・特定保健指導の実施が各医療保険者に義務付けられた。区では 40 歳以上の国民健康保険、後期高齢者医療制度加入者及び生活保護受給者等に健康診査を行った。健診は、地区医師会に委託し実施した。

検査項目は問診、理学的検査、血圧測定、尿検査、肝機能検査、コレステロール、腎機能検査、医師の判断により貧血検査、心電図、眼底検査、血清尿酸・クレアチニン、胸部 X 線検査などを実施した。

(1) 特定健康診査

国民健康保険 加入者	受診者	保健指導 該当者 (再掲)	内訳		
			積極的支援	動機付け支援	
合計	平成 25 年度	12,809	1,273	390	883
	平成 26 年度	12,949	1,229	361	868
	平成 27 年度	13,230	1,269	399	870
	平成 28 年度	12,639	1,220	367	853
	平成 29 年度	12,338	1,294	360	934
	40～44 歳	786	112	62	50
	45～49 歳	867	124	60	64
	50～54 歳	958	139	72	67
	55～59 歳	1,156	148	76	72
	60～64 歳	1,549	167	90	77
男	65～69 歳	3,206	314		314
	70～74 歳	3,816	290		290
	総計	4,875	896	310	586
	40～44 歳	333	92	56	36
	45～49 歳	378	97	55	42
	50～54 歳	381	102	58	44
	55～59 歳	449	106	65	41
	60～64 歳	570	111	76	35
女	65～69 歳	1,258	211		211
	70～74 歳	1,506	177		177
	総計	7,463	398	50	348
	40～44 歳	453	20	6	14
	45～49 歳	489	27	5	22
	50～54 歳	577	37	14	23
	55～59 歳	707	42	11	31
	60～64 歳	979	56	14	42
合計	65～69 歳	1,948	103		103
	70～74 歳	2,310	113		113

(2) 後期高齢者医療健康診査

	後期高齢者 医療制度加入者	受診者
合計	平成 25 年度	9,729
	平成 26 年度	9,793
	平成 27 年度	9,702
	平成 28 年度	9,850
	平成 29 年度	10,858
	65～74 歳 (障害認定)	12
	75～79 歳	3,599
	80～84 歳	3,855
	85～89 歳	2,214
	90～94 歳	933
男	95～99 歳	217
	100 歳～	28
	総計	3,828
	65～74 歳 (障害認定)	5
	75～79 歳	1,361
	80～84 歳	1,403
	85～89 歳	740
	90～94 歳	256
女	95～99 歳	57
	100 歳～	6
	総計	7,030
	65～74 歳 (障害認定)	7
	75～79 歳	2,238
	80～84 歳	2,452
	85～89 歳	1,474
	90～94 歳	677
合計	95～99 歳	160
	100 歳～	22

(3) 健康増進法による健康診査

		健診受診者 合計 (①+②+③)	健康保険 切替 ①	該当年度中 75歳 ②	生活保護 受給者 ③	保健指導 該当者 (生活保護受 給者のみ) (再掲)	内訳	
							積極的支援	動機付け支援
合計	平成 25 年度	871	55	535	281	31	14	17
	平成 26 年度	947	63	592	292	19	8	11
	平成 27 年度	1,128	113	679	336	24	7	17
	平成 28 年度	1,242	102	780	360	55	22	33
	平成 29 年度	1,210	86	740	384	57	27	30
	40～44 歳	23	13	-	10	-	-	-
	45～49 歳	34	21	-	13	8	5	3
	50～54 歳	38	13	-	25	11	4	7
	55～59 歳	37	10	-	27	11	7	4
	60～64 歳	40	10	-	30	14	11	3
	65～69 歳	61	12	-	49	5		5
	70～74 歳	54	3	-	51	8		8
	75 歳以上	923	4	740	179	-		
男	総計	555	33	316	206	41	20	21
	40～44 歳	9	4	-	5	-	-	-
	45～49 歳	14	9	-	5	5	3	2
	50～54 歳	24	4	-	20	11	4	7
	55～59 歳	20	3	-	17	6	5	1
	60～64 歳	27	5	-	22	11	8	3
	65～69 歳	34	4	-	30	4		4
	70～74 歳	32	2	-	30	4		4
	75 歳以上	395	2	316	77	-		
女	総計	655	53	424	178	16	7	9
	40～44 歳	14	9	-	5	-	-	-
	45～49 歳	20	12	-	8	3	2	1
	50～54 歳	14	9	-	5	-	-	-
	55～59 歳	17	7	-	10	5	2	3
	60～64 歳	13	5	-	8	3	3	-
	65～69 歳	27	8	-	19	1		1
	70～74 歳	22	1	-	21	4		4
	75 歳以上	528	2	424	102	-		

6 肝炎ウイルス検査

肝炎ウイルスを早期発見し、肝炎等による健康障害を回避することを目的として、過去未受診者等に対して肝炎ウイルス検査を実施している。(平成14年度事業開始)

	受診者数	うち陽性者数
平成25年度実施人数	1,598	
C型肝炎検査	1,598	9
B型肝炎検査	1,597	9
平成26年度実施人数	1,639	
C型肝炎検査	1,639	9
B型肝炎検査	1,636	3
平成27年度実施人数	1,751	
C型肝炎検査	1,746	6
B型肝炎検査	1,742	8
平成28年度実施人数	1,213	
C型肝炎検査	1,213	3
B型肝炎検査	1,209	9
平成29年度実施人数	1,372	
C型肝炎検査	1,371	2
B型肝炎検査	1,370	3

7 若年層向け健康増進事業

若年世代へ健康を見つめ直すきっかけを提供し健康意識を向上させることで、40歳からの区健診(検診)事業の利用を促すため、年度末年齢が39歳となる区民に対し、生活習慣に起因する病気やリスク、区の健診(検診)事業に関する情報を掲載したパンフレットを送付する事業を、平成29年度より開始した。

第2 精神保健福祉

平成7年7月精神保健法が精神保健福祉法に改定され、精神障害者のケアも病院から地域中心の方向へと大きく変わってきた。このような状況に対して、心の健康の保持増進、精神障害者の早期発見、早期治療及び回復途上者のリハビリテーション事業の体系的施策の充実化が望まれる。

平成8年に地域精神保健福祉連絡協議会が発足し、ノーマライゼーションの考え方の基に精神障害者の自立と社会経済活動への参加の促進を図るための方策が検討されつつある。

現在は障害者総合支援法に基づき、事業を実施している。

1 精神保健相談と訪問指導（精神保健福祉法第47条）

精神障害者とその家族及び区民を対象に、所内において専門医師による個別指導を行っている。また、保健師等による相談、個別指導を行っている。

(1) 精神保健相談実施状況

	相談回数	相談 延人数	相談内容						
			老人精神 保健	社会復帰	アルコール	薬物	思春期	心の健康 づくり	その他
平成25年度	48	94	2	3	6	2	5	34	42
平成26年度	48	115	2	1	5	1	3	70	33
平成27年度	48	105	4	2	10	-	2	37	50
平成28年度	48	89	5	1	8	1	3	21	50
平成29年度	48	105	4	1	12	-	6	47	35
保健SC	24	57	2	1	8	-	4	23	19
本郷支所	24	48	2	-	4	-	2	24	16

(2) 訪問指導及び所内相談・電話相談

	総数		訪問指導数										所内相談		電話・その他	
	実数	延数	実数	延数	訪問指導数（再掲）								実数	延数	実数	延数
					老人精神 保健	社会 復帰	アル コール	薬物	思春期	心の健康 づくり	その他					
平成25年度	1,009	3,834	216	997	21	76	1	4	7	32	856	386	754	407	2,083	
平成26年度	994	3,729	224	877	39	44	7	1	6	29	751	377	763	393	2,089	
平成27年度	1,118	4,252	279	1,016	54	39	8	1	5	17	892	444	891	391	2,336	
平成28年度	1,157	3,755	275	880	24	25	9	2	2	15	803	462	835	420	2,040	
平成29年度	1,198	4,307	257	881	11	10	12	1	2	11	834	500	966	441	2,460	
健康推進課	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	
予防対策課	14	15	2	2	-	-	-	-	-	-	2	2	2	10	11	
保健SC	599	2,497	159	530	5	7	12	1	-	3	502	184	473	256	1,494	
本郷支所	584	1,794	96	349	6	3	-	-	2	8	330	314	491	174	954	

(3) 関係機関連絡

	連絡延数	医療機関	福祉関係	保健機関	その他
平成25年度	2,731	558	1,576	457	140
平成26年度	2,379	513	1,327	410	139
平成27年度	3,835	726	2,365	611	133
平成28年度	3,103	546	1,917	499	141
平成29年度	4,071	827	2,527	566	151
予防対策課	113	3	17	93	-
保健SC	2,109	513	1,207	291	98
本郷支所	1,849	311	1,303	182	53

2 講演会

精神保健に関する知識の普及のため一般区民等を対象に専門家による講演会を開催している。

①保健サービスセンター

内容	回数	参加者数	場所
「スマホを手放せなくなっていますか？」 講師：北湯口 孝 氏（久里浜医療センター 臨床心理士）	1	20	シビックセンター

②本郷支所

内容	回数	参加者数	場所
「アンガーマネジメント～怒りを上手に使用って、相手も自分も大切にするために～」 講師：新明 一星 氏（国立精神・神経医療研究センター、認知行動療法センター 臨床心理士）	1	58	シビックセンター

3 医療費公費負担申請（障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第 53 条） 自立支援医療費制度（精神通院医療）

精神障害の状態の軽減のために必要な医療について確保し続けることができるようにするため、平成 18 年 4 月 1 日施行された。

病名別申請件数 2,879

		～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80～89 歳	90 歳～	計
精神および行動の障害	F0 症状性を含む器質性精神障害	1	2	4	8	14	24	13	15	1	82
	F00 アルツハイマー病型認知症	-	-	-	-	1	11	6	10	-	28
	F1 精神作用物質使用による精神・行動の障害	-	2	6	21	19	19	10	2	-	79
	F10 アルコール使用による精神・行動の障害	-	-	4	10	12	19	9	2	-	56
	F15 カフェイン・他の精神刺激剤使用による精神・行動の障害	-	1	1	4	4	-	-	-	-	10
	F2 統合失調症、統合失調型障害・妄想性障害	4	52	108	203	168	100	48	7	-	690
	F3 気分[感情]障害	8	118	272	373	337	162	75	22	2	1,369
	F4 神経症性障害、ストレス関連障害・身体表現性障害	1	25	44	45	44	27	10	3	1	200
	F5 生理的障害・身体的要因に関連した行動症候群	1	-	2	5	-	1	1	-	-	10
	F6 成人の人格・行動の障害	-	2	8	4	5	-	-	-	-	19
	F7 精神遅滞[知的障害]	1	5	1	5	4	3	-	-	-	19
	F8 心理的発達の障害	14	52	31	18	5	1	-	-	-	121
F9 その他	12	22	23	17	2	2	-	1	-	79	
神経系の疾患	G40 てんかん	3	28	26	23	25	12	8	2	-	127
転入等により不明		4	16	35	18	6	4	1	-	-	84
計		49	324	560	740	629	355	166	52	4	2,879

その他各種届等件数 1,330 件(認定内容変更申請 631 件/記載事項変更届 648 件/再交付申請 51 件)

4 精神障害者保健福祉手帳（精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第 45 条）

一定の精神障害の状態にあることを証明する手帳を交付することにより、手帳の交付を受けた者に対して、各種の支援策を講じやすくし、社会復帰の促進及び自立と社会参加の促進を図ることを目的として、平成 7 年に創設された。

精神障害者保健福祉手帳の平成 29 年度末の交付状況は、1,460 人（1 級 64 人、2 級 672 人、3 級 724 人）である。 ※平成 29 年度より精神障害者福祉手当支給開始。受給者数延べ 89 人。（対象：手帳 1 級所持者、所得制限等の要件あり。）

5 障害者総合支援サービス（精神障害者）

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づき、自立支援給付及び地域生活支援事業のサービスを実施している。

(1) 支給決定人数（年度末現在）

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
居宅介護（ホームヘルプ）	72	100	113	120	137
短期入所	-	1	3	5	4
生活介護	-	-	-	-	-
自立訓練（生活訓練）	4	9	10	6	9
宿泊型自立訓練	1	-	-	1	1
就労移行支援	24	32	39	51	43
就労継続支援（A 型）	2	7	11	10	14
就労継続支援（B 型）	88	79	104	99	105
共同生活援助（グループホーム）	25	28	30	23	24
地域移行支援	-	-	-	1	1
地域定着支援	4	4	9	9	9
計画相談支援※	22	49	96	119	138
移動支援	31	35	38	37	41
日常生活用具の給付	-	-	1	-	-

※ 個々の状況等を勘案し利用するサービスの内容等を定めたサービス等利用計画書を作成する支援。平成 27 年 4 月 1 日から自立支援給付サービスの利用に当たり計画（セルフプラン含む）の作成が必須化。

(2) 地域活動支援センター

障害者の地域社会における自立生活を支援するために、創作活動や相談支援等を行い、交流の場を提供している。

施設名（運営主体）	住 所
文京地域生活支援センター あかり （社会福祉法人 復生あせび会）	千石四丁目 27 番 12 号
エナジーハウス （特定非営利活動法人 エナジー本舗）	千駄木五丁目 10 番 8 号
地域活動支援センター みんなの部屋 （公益財団法人 東京カリタスの家）	関口三丁目 16 番 15 号

6 児童福祉法サービス（精神障害児）

児童福祉法に基づき、精神に障害のある児童（発達障害児等を含む）に対して、障害児通所支援や障害児相談支援のサービスを実施している。

支給決定人数（年度末現在）

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
児童発達支援	1	5	86	99	133
放課後等デイサービス	3	12	69	115	154
障害児相談支援事業	-	-	147	168	157

※平成 27 年度分から身体障害者手帳及び愛の手帳を所持していない児童を含む。

7 精神障害者グループホーム開所費用助成

文京区内に精神障害者グループホームを新規に開所する事業者に対して、敷金・礼金・入居までの家賃等の初期費用の一部を助成することにより、グループホームの増設を図る。

29年度実績 0か所

8 精神障害回復途上者デイケア事業

当事業は、回復途上にある精神障害者を対象に集団生活指導を行い、対人関係の障害を改善するとともに、日常生活習慣の習得を図り、社会生活への適応能力を高めることを目的とする。

平成元年に開始し、保健師、心理職員を中心に、生活技能訓練、レクリエーションなどを取り入れたプログラムに基づき、週3回実施している。

(1) 月別実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
25年度 実施回数	11	13	12	13	10	11	12	11	10	11	12	13	139	
26年度 実施回数	12	12	13	13	9	12	12	10	12	10	11	13	139	
27年度 実施回数	12	10	13	13	10	11	12	12	10	10	12	13	138	
28年度 実施回数	13	11	14	11	10	12	12	11	11	10	12	13	140	
29年度 実施回数	11	12	12	12	11	12	12	13	10	10	11	12	138	
参加者	登録実人員	16	16	16	16	17	16	17	16	16	16	14	15	
	登録延人員	94	98	93	88	83	90	78	87	71	66	65	74	987
	見学実人員	3	1	2	2	1	1	-	-	1	1	3	3	
	見学延人員	5	2	5	15	11	8	-	-	1	2	15	21	85
	OB実人員	5	5	4	4	4	4	4	3	6	3	4	4	
	OB延人員	11	16	13	12	9	9	13	12	17	8	9	11	140

延べ人員 1,212人

(2) 内容別活動状況

プログラム		回数	内 容	プログラム		回数	内 容
所内活動	季節の行事	18	お花見、クリスマス会など	所内活動	室内ゲーム・レク	12	すごろく、人生ゲームなど
	音楽	18	音楽家指導による合奏、合唱、準備		コーヒータイム	5	喫茶店での歓談
	創作	12	講師指導による工作、絵画など		カラオケ	6	自由に歌い気分を明るくする
	歯科教室	1	歯科衛生士による指導		ディスカッション	14	テーマをもうけて話し合う
	図書館	2	資料を調べたり、読書を行う		音楽・映画鑑賞	18	互いに鑑賞する
	生活技能訓練・復習	24	対人交流のスキルを身につける		外食プログラム	6	大学学食へのランチなど
	各種講座	9	医療福祉制度学習、ストレッチ教室など		工作	6	コラージュ、大人のぬりえなど
	ヨガ	12	心身のバランスを保つ		料理	12	計画、買物、調理
	スポーツ	14	卓球、ウォーキング、風船バレーなど		心理教育	2	エゴグラム、サイコドラマ
	プログラム決め	12	月間予定の検討		その他	11	支所見学、フリープログラムなど
	係活動	34	園芸、パソコン、清掃、新聞		定期面接	19	スタッフや嘱託医による面接
	所外活動	バス旅行	1		清水公園BBQ	かんたん料理	9
施設見学		4	アビーム、上野動物園、花やしき、六義園など				
地域交流祭		1	区内精神保健福祉施設で行う合同レクリエーション (6月 東京ドームボーリング場)				

※同じ時間帯に複数の活動を行うこともある

(3) 管内別受入状況

	計	年代別										病名別	
		20代		30代		40代		50代		60代		統合失調	その他
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
平成 25 年度	47	5	4	6	7	7	7	7	3	-	1	47	-
平成 26 年度	35	3	2	4	5	4	8	6	2	-	1	18	-
平成 27 年度	35	1	2	3	6	8	7	6	1	-	1	35	-
平成 28 年度	34	1	5	2	6	5	4	7	3	-	1	34	-
平成 29 年度	31	2	3	3	5	5	2	5	5	-	1	31	-
保健SC	15	-	1	3	2	4	2	3	-	-	-	15	-
本郷支所	16	2	2	-	3	1	-	2	5	-	1	16	-

(4) 在籍状況

	新規受入者	終了者	※継続者
平成 25 年度	5	4	12
平成 26 年度	3	2	15
平成 27 年度	1	6	13
平成 28 年度	6	2	11
平成 29 年度	1	2	16

(※継続者については、平成 30 年 3 月末日現在)

(5) デイケア終了者の状況

	就労	就労継続 支援施設	授産施設	アルバイト	家庭内 復帰	自営 手伝い	地域活動支援 センター	病院 デイケア	その他	計
平成 25 年度	-	-	-	-	2	-	1	1	-	4
平成 26 年度	-	-	-	-	1	-	1	-	-	2
平成 27 年度	-	3	-	-	-	-	-	1	2	6
平成 28 年度	-	1	-	-	-	1	-	-	-	2
平成 29 年度	-	-	-	-	-	-	1	1	-	2

(6) デイケア家族会

精神障害者が社会復帰するためには、家族がとるべき役割も大きい。そこでデイケア通所者の家族に対して、病気に対する理解を深め家族同士の支え合い、学び合うこと等を目的に家族会を開催している。

	開催回数	参加者数
平成 25 年度	1	10
平成 26 年度	1	7
平成 27 年度	1	14
平成 28 年度	1	15
平成 29 年度	1	14

(7) デイケア家族教室

精神保健福祉についての状況は日々変化している。的確な知識、情報を提供し、家族及び当事者がより良く生活することを目的として、家族教室を実施している。

実施日	参加者数	テーマ	講師
平成 30 年 1 月 27 日	14	統合失調症の理解と回復	東京大学医学部附属病院 澤田欣吾医師

9 精神障害者地域安心生活支援事業

精神障害者が安心して地域生活を送ることができるように支援することを目的として、各種事業を行っている。

(1) 24時間緊急時相談支援事業

精神障害者等からの緊急時の電話相談に対応し、相談支援を行う。

対 象	区内在住の精神障害者とその家族
費 用	無料

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
利用実績(延)	5,567 件	4,831 件	5,679 件	5,906 件	7,116 件

(2) 緊急時ショートステイ事業

精神障害者の同居家族が入院等により不在、病気事故等により本人の介護できなくなったとき、家族から離れることが適当と判断されたとき等に緊急一時的な宿泊場所を提供し、支援を行う。

また、利用後も継続して、生活支援を行っている。

対 象	区内在住の精神障害者 *原則は、事前登録必要
費 用	無料 *ただし、食費・リネン費などの実費は利用者負担

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
利用実績(延)	78 日	126 日	200 日	248 日	171 日

(3) 地域生活体験事業

家族と同居する精神障害者が将来の自立した生活に向けて、一定期間生活体験することについて支援を行う。また、利用後も継続して、生活支援を行っている。

対 象	区内在住の精神障害者 *原則は、事前登録必要
費 用	無料 *ただし、食費・リネン費などの実費は利用者負担

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
利用実績(延)	7 日	2 日	2 日	5 日	37 日

10 精神障害者地域生活安定化支援事業

未治療や治療中断のおそれのある精神障害者を対象として、病状悪化を未然に防止することを目的に、通院同行や服薬見守り及び生活支援を行う。

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
利用実績(延)	41 人	36 人	31 人
利用実績(延支援回数)	2,932 回	3,831 回	3,280 回

11 精神障害者単身生活サポート事業

グループホームを退所後、区内において単身生活を希望する精神障害者を対象として、住居の確保や入居後の相談及び生活支援等を行う。

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
利用実績(延人数)	4 人	3 人	4 人
利用実績(延支援回数)	132 回	217 回	172 回

※平成 26 年度事業開始

12 精神保健ホームヘルパー研修

精神障害者の地域生活を支えるホームヘルプサービスの需要は年々増加しているが、障害者総合支援法の精神障害者に対する居宅介護事業に従事するホームヘルパーは不足している。

そこで有資格者(ヘルパー2級以上、他)を対象として、介護事業受け入れの動機付けを与えるために 22 年度から新規事業として研修を開始した。

	事業者数	終了者数
平成 25 年度	8	12
平成 26 年度	4	6
平成 27 年度	10	13
平成 28 年度	10	13
平成 29 年度	8	14

13 自殺対策

平成 18 年 10 月に施行された「自殺対策基本法」に基づき、区では平成 21 年度より自殺対策の取り組みを行っている。

(1) 普及啓発事業

自殺に関する正しい知識と理解を促すために、区民及び関係機関に対し普及啓発事業を実施した。

事業内容	
区民向け自殺予防リーフレット 「こころといのちの相談・支援 自殺予防相談窓口一覧」	1,500 部 268 カ所配置
東京都自殺対策強化月間(9・3月)世界自殺予防デー(9月10日)	強化月間に合わせて重点周知
ホームページ	相談窓口等を通年表示(随時更新)
こころの体温計	平成 27 年 5 月「本人モード」「家族モード」開始 平成 27 年 9 月「赤ちゃんママモード」開始 啓発としてティッシュ 4,000 個、クリアファイル 500 枚配布

(2) 人材育成

自殺に関する正しい知識と理解を促すための講演会と、自殺のサインに気づき、対応することができる人「こころといのちのゲートキーパー」養成講座を区民と職員に対し実施した。

講師	対象	回数	参加者数
成重 竜一郎(日本医科大学付属病院 精神神経科医師)	区内在住、在勤、在学	1	24
西村 由紀(メンタルケア協議会 理事)	文京区役所職員(職員課共催)	1	25
西村 由紀(メンタルケア協議会 理事)	区内相談支援機関 文京保健所 職員	1	14
澤田 欣吾(東京大学医学部附属病院 精神神経科医師)	区内在住、在勤、在学	1	46
都立精神保健福祉センター所長	区立幼稚園、小中学校教員	1	30

講座数・受講者数

	講座数			受講者数		
	区民対象	職員対象	計	区民	区職員	計
平成 25 年度	3	3	6	218	99	317
平成 26 年度	2	4	6	187	128	315
平成 27 年度	3	3	6	208	102	310
平成 28 年度	3	3	6	91	89	180
平成 29 年度	3	2	5	84	55	139

(3) 連携会議

区の自殺対策の推進のため、庁内の連携体制を構築し情報共有や効果的な事業等の検討を行った。

内容	委員数	回数
文京区自殺対策連絡会	21	1

第3 難病対策

1 難病相談事業

会場まで通所可能な神経難病患者を対象とした難病リハビリ教室や、パーキンソン病患者を対象とした体操教室を開催している。教室では病気の理解を深め、日常生活を過ごしやすくする方法を学ぶと共に、患者同士の情報交換・交流の機会となっている。

(1) 難病リハビリ教室

	実施回数	実施人数
平成25年度	12	68
平成26年度	12	62
平成27年度	12	71
平成28年度	12	60
平成29年度	12	62

(2) パーキンソン病体操教室

	実施回数	実施人数
平成25年度	12	207
平成26年度	12	191
平成27年度	12	228
平成28年度	12	213
平成29年度	12	224

2 東京都の難病対策

東京都では在宅難病患者に対する支援事業が実施されており、保健所は相談窓口及び申請の受け付け進達事務を行うとともに、保健師、看護師が訪問指導を行っている。

(1) 在宅難病患者医療機器貸与事業

在宅難病患者が使用する吸入器、吸引器を貸与し、併せて訪問看護を実施することにより、患者の経済的負担の軽減と療養環境の向上を図っている。

	貸与者数
平成25年度	17
平成26年度	15
平成27年度	12
平成28年度	10
平成29年度	9

(2) 在宅難病患者緊急一時入院事業

在宅難病患者が家族等の介護者の疾病・事故その他の事情により、一時的に介護を受けられなくなった場合に医療機関に入院できるよう14ヶ所の医療機関で20床(ベッド数)が確保されている。

	延数
平成25年度	13
平成26年度	20
平成27年度	19
平成28年度	18
平成29年度	20

(3) 在宅難病患者訪問診療事業

寝たきり等により、受診が困難な在宅難病患者に対して、医療の確保及び療養環境の向上を図るため、東京都が地区医師会に訪問診療事業を委託している。その際、地区担当保健師も同行し、患者に対して生活指導を行っている。

	延数
平成25年度	38
平成26年度	40
平成27年度	28
平成28年度	25
平成29年度	23

3 障害者総合支援サービス（難病患者）

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づき、平成 25 年度から難病患者に対して自立支援給付及び地域生活支援事業のサービスを実施している。

（対象疾病：358 疾病、平成 29 年 4 月 1 日現在）

(1) 支給決定人数（年度末現在）

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
居宅介護（ホームヘルプ）	6	4	7	5	5
移動支援	1	1	5	4	5

(2) 支給決定件数

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
補装具費の支給	1	-	1	-	3
日常生活用具の給付	2	6	8	7	-

4 小児慢性特定疾病児童の日常生活用具の給付

平成 28 年度から小児慢性特定疾病医療受給者証の所持者に日常生活用具の給付事業を実施している。

支給決定件数

	平成 28 年度	平成 29 年度
日常生活用具の給付	3	1

第4 医療費助成

平成29年度において次のとおりの医療費の給付申請があり、助成または受付進達事務を行っている。

根拠	給付項目		合計
法	総数		4,368
	養育医療給付	43	
	育成医療給付	13	
	療育医療給付	-	
	結核医療費	103	
	精神障害者通院医療費	4,209	
	総数		81
	妊娠高血圧症候群等	1	
	妊婦精密健康診査	-	
	乳幼児精密健康診査	80	
	総数		144
	小児慢性特定疾病	悪性新生物	25
		慢性腎臓病	7
		慢性呼吸器疾患	7
慢性心臓病		34	
内分泌疾患		32	
膠原病		6	
糖尿病		5	
先天性代謝異常		8	
血液疾患		2	
免疫疾患		3	
神経筋疾患		6	
慢性消化器疾患		7	
染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群		1	
皮膚疾患	-		
成長ホルモン治療	1		
根拠	給付項目		合計
都医療費助成	総数		460
	特殊疾病	進行性筋ジストロフィー	-
		ウイロソ	-
		脊髄空洞症	2
		悪性高血圧症	-
		骨髄線維症	1
		ネフロゼ症候群	1
		母斑症	8
		肝内結石症	-
		ミオトニ	-
		特発性好酸球增多症候群	-
		特強直性脊椎炎	14
		びまん性汎細気管支炎	3
		遺伝性(本態性)ニューロパチー	-
		遺伝性QT延長症候群	-
		先天性ミオパチー	1
		網膜脈絡膜萎縮症	1
		※人工透析を必要とする腎不全	429
		B型・C型ウイルス肝炎治療	140
小児精神病	2		

※ 特殊医療費等助成

根拠	給付項目	合計	根拠	給付項目	合計
	総数	2,019			
国 医 療 費 助 成	001 球脊髄性筋萎縮症	3	国 医 療 費 助 成	054 成人スチル病	9
	002 筋萎縮性側索硬化症	14		055 再発性多発軟骨炎	3
	003 脊髄性筋萎縮症	2		056 ベーチェット病	39
	004 原発性側索硬化症	-		057 特発性拡張型心筋症	48
	005 進行性核上性麻痺	18		058 肥大型心筋症	15
	006 パーキンソン病	220		059 拘束型心筋症	1
	007 大脳皮質基底核変性症	3		060 再生不良性貧血	26
	008 ハンチントン病	2		061 自己免疫性溶血性貧血	1
	009 神経有棘赤血球症	-		062 発作性夜間ヘモグロビン尿症	-
	010 シャルコー・マリー・トゥース病	6		063 特発性血小板減少性紫斑病	45
	011 重症筋無力症	39		064 血栓性血小板減少性紫斑病	2
	012 先天性筋無力症候群	-		065 原発性免疫不全症候群	8
	013 多発性硬化症／視神経脊髄炎	49		066 Ig A 腎症	14
	014 慢性炎症性脱髄性多発神経炎／	11		067 多発性嚢胞腎	43
	015 多巣性運動ニューロパチー	1		068 黄色靱帯骨化症	9
	016 封入体筋炎	1		069 後縦靱帯骨化症	38
	017 クロウ・深瀬症候群	1		070 広範脊柱管狭窄症	4
	018 多系統萎縮症	24		071 特発性大腿骨頭壊死症	24
	019 脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く)	41		072 下垂体性ADH分泌異常症	8
	020 ライソゾーム病	-		073 下垂体性TSH分泌亢進症	-
	021 副腎白質ジストロフィー	3		074 下垂体性PRL分泌亢進症	16
	022 ミトコンドリア病	0		075 クッシング病	2
	023 もやもや病	20		076 下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	-
	024 プリオン病	1		077 下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	2
	025 亜急性硬化性全脳炎	-		078 下垂体前葉機能低下症	31
	026 進行性多巣性白質脳症	-		079 家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	-
	027 HTLV-1 関連脊髄症	1		080 甲状腺ホルモン不応症	-
	028 特発性基底核石灰化症	-		081 先天性副腎皮質酵素欠損症	1
	029 全身性アミロイドーシス	6		082 先天性副腎低形成症	-
	030 ウルリッヒ病	-		083 アジソン病	-
	031 遠位型ミオパチー	1		084 サルコイドーシス	38
	032 ベスレムミオパチー	-		085 特発性間質性肺炎	26
	033 自己食空胞性ミオパチー	-		086 肺動脈性肺高血圧症	6
	034 シュワルツ・ヤンペル症候群	-		087 肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	-
	035 神経線維腫症	6		088 慢性血栓塞栓性肺高血圧症	4
	036 天疱瘡	6		089 リンパ脈管筋腫症	3
	037 表皮水疱瘡	-		090 網膜色素変性症	36
	038 膿疱性乾癬(汎発型)	7		091 バッド・キアリ症候群	-
	039 スティーヴンス・ジョンソン症候群	2		092 特発性門脈圧亢進症	-
	040 中毒性表皮壊死症	-		093 原発性胆汁性肝硬変	54
	041 高安動脈炎	16		094 原発性硬化性胆管炎	2
	042 巨細胞性動脈炎	4		095 自己免疫性肝炎	25
	043 結節性多発動脈炎	7		096 クローン病	92
	044 顕微鏡的多発血管炎	24		097 潰瘍性大腸炎	327
	045 多発血管炎性肉芽腫症	6		098 好酸球性消化管疾患	3
	046 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	12		099 慢性特発性偽性腸閉塞症	2
	047 悪性関節リウマチ	8		100 巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	1
	048 パージャヤー病	10		101 腸管神経節細胞僅少症	-
	049 原発性抗リン脂質抗体症候群	-		102 ルビンシュタイン・テイビ症候群	-
	050 全身性エリテマトーデス	123		103 CFC 症候群	-
	051 皮膚筋炎／多発性筋炎	48		104 コステロ症候群	-
	052 全身性强皮症	58		105 チャージ症候群	-
	053 混合性結合組織病	21		106 クリオピリン関連周期熱症候群	-
			107 全身型若年性特発性関節炎	2	
			108 TNF受容体関連周期性症候群	-	

根拠	給付項目	合計	根拠	給付項目	合計
国 医 療 費 助 成	109 非典型溶血性尿毒症症候群	-	国 医 療 費 助 成	160 先天性魚鱗癬	-
	110 ブラウ症候群	-		161 家族性良性慢性天疱瘡	-
	111 先天性ミオパチー	1		162 類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む）	3
	112 マリネスコ・シェーグレン症候群	-		163 特発性後天性全身性無汗症	-
	113 筋ジストロフィー	10		164 眼皮膚白皮症	-
	114 非ジストロフィー性ミオトニー症候群	-		165 肥厚性皮膚骨膜症	-
	115 遺伝性周期性四肢麻痺	-		166 弾性線維性仮性黄色腫	1
	116 アトピー性脊髄炎	-		167 マルフアン症候群	2
	117 脊髄空洞症	2		168 エーラス・ダンロス症候群	-
	118 脊髄髄膜瘤	-		169 メンケス病	-
	119 アイザックス症候群	-		170 オクシピタル・ホーン症候群	-
	120 遺伝性ジストニア	1		171 ウイルソン病	-
	121 神経フェリチン症	-		172 低ホスファターゼ症	-
	122 脳表へモジデリン沈着症	-		173 VATER 症候群	-
	123 禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	-		174 那須・ハコラ病	-
	124 皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	-		175 ウィーバー症候群	-
	125 神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	-		176 コフィン・ローリー症候群	-
	126 ペリー症候群	-		177 有馬症候群	-
	127 前頭側頭葉変性症	1		178 モワット・ウィルソン症候群	-
	128 ビッカースタッフ脳幹脳炎	-		179 ウィリアムズ症候群	-
	129 痙攣重積型（二相性）急性脳症	-		180 A T R - X 症候群	-
	130 先天性無痛無汗症	-		181 クルーゾン症候群	-
	131 アレキササンダー病	-		182 アペール症候群	-
	132 先天性核上性球麻痺	-		183 ファイファー症候群	-
	133 メビウス症候群	-		184 アントレー・ビクスラー症候群	-
	134 中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	-		185 コフィン・シリズ症候群	-
	135 アイカルディ症候群	-		186 ロスムンド・トムソン症候群	-
	136 片側巨脳症	2		187 歌舞伎症候群	2
	137 限局性皮質異形成	-		188 多脾症候群	-
	138 神経細胞移動異常症	-		189 無脾症候群	-
	139 先天性大脳白質形成不全症	-		190 鰓耳腎症候群	-
140 ドラベ症候群	-	191 ウェルナー症候群	-		
141 海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	-	192 コケイン症候群	-		
142 ミオクロニー欠てんかん	-	193 プラダー・ウィリ症候群	-		
143 ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	-	194 ソトス症候群	-		
144 レノックス・ガストー症候群	-	195 ヌーナン症候群	-		
145 ウエスト症候群	-	196 ヤング・シンプソン症候群	-		
146 大田原症候群	-	197 1 p36 欠失症候群	-		
147 早期ミオクロニー脳症	-	198 4 p 欠失症候群	-		
148 遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	-	199 5 p 欠失症候群	-		
149 片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	-	200 第14番染色体父親性ダイソミー症候群	-		
150 環状20番染色体症候群	-	201 アンジェルマン症候群	-		
151 ラスムッセン脳炎	-	202 スミス・マギニス症候群	-		
152 P C D H 19 関連症候群	-	203 22q11.2 欠失症候群	-		
153 難治頻回部分発作重積型急性脳炎	-	204 エマヌエル症候群	-		
154 徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	-	205 脆弱 X 症候群関連疾患	-		
155 ランドウ・クレフナー症候群	-	206 脆弱 X 症候群	-		
156 レット症候群	-	207 総動脈幹遺残症	-		
157 スタージ・ウェーバー症候群	1	208 修正大血管転位症	-		
158 結節性硬化症	4	209 完全大血管転位症	-		
159 色素性乾皮症	-	210 単心室症	-		
			211 左心低形成症候群	-	
			212 三尖弁閉鎖症	-	
			213 心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	-	
			214 心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	-	

根拠	給付項目	合計	根拠	給付項目	合計
	215 フアロー四徴症	2		267 高IgD症候群	-
	216 両大血管右室起始症	-		268 中條・西村症候群	-
	217 エプスタイン病	-		269 化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・	-
	218 アルポート症候群	-		アクネ症候群	-
	219 ギャロウェイ・モワト症候群	-		270 慢性再発性多発性骨髄炎	-
	220 急速進行性糸球体腎炎	1		271 強直性脊椎炎	14
	221 抗糸球体基底膜腎炎	1		272 進行性骨化性線維異形成症	-
	222 一次性ネフローゼ症候群	42		273 肋骨異常を伴う先天性側弯症	-
	223 一次性膜性増殖性糸球体腎炎	-		274 骨形成不全症	-
	224 紫斑病性腎炎	-		275 タナトフォリック骨異形成症	-
	225 先天性腎性尿崩症	-		276 軟骨無形成症	2
	226 間質性膀胱炎(ハンナ型)	1		277 リンパ管腫症/ゴーハム病	-
	227 オスラー病	1		278 巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	-
	228 閉塞性細気管支炎	-		279 巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	-
	229 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	-		280 巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	-
	230 肺胞低換気症候群	1		281 クリッペル・トレノネー・	1
	231 α1-アンチトリプシン欠乏症	-		ウエーバー症候群	-
	232 カーニ複合	-		282 先天性赤血球形成異常性貧血	-
	233 ウォルフラム症候群	-		283 後天性赤芽球癆	2
	234 ペルオキシソーム病	-		284 ダイヤモンド・ブラックファン貧血	-
	(副腎白質ジストロフィーを除く)	-		285 フアンコニ貧血	-
	235 副甲状腺機能低下症	-		286 遺伝性鉄芽球性貧血	-
	236 偽性副甲状腺機能低下症	2	国	287 エプスタイン症候群	-
	237 副腎皮質刺激ホルモン不応症	-	医	288 自己免疫性出血病XIII	-
	238 ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	2	療	289 クロンカイト・カナダ症候群	-
	239 ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	-	費	290 非特異性多発性小腸潰瘍症	-
	240 フェニルケトン尿症	1	助	291 ヒルシュスプルング病	-
	241 高チロシン血症1型	-	成	291 (全結腸型又は小腸型)	-
	242 高チロシン血症2型	-		292 総排泄腔外反症	-
	243 高チロシン血症3型	-		293 総排泄腔遺残	-
	244 メープルシロップ尿症	-		294 先天性横隔膜ヘルニア	-
	245 プロピオン酸血症	-		295 乳幼児肝巨大血管腫	-
	246 メチルマロン酸血症	-		296 胆道閉鎖症	2
	247 イソ吉草酸血症	-		297 アラジャール症候群	4
	248 グルコーストランスポーター1欠損症	-		298 遺伝性腓	-
	249 グルタル酸血症1型	-		299 嚢胞性線維症	-
	250 グルタル酸血症2型	-		300 IgG4関連疾患	4
	251 尿素サイクル異常症	-		301 黄斑ジストロフィー	-
	252 リジン尿性蛋白不耐症	-		302 レーベル遺伝性視神経症	-
	253 先天性葉酸吸収不全	-		303 アッシャー症候群	-
	254 ポルフィリン症	-		304 若年発症型両側性感音難聴	-
	255 複合カルボキシラーゼ欠損症	-		305 遅発性内リンパ水腫	-
	256 筋型糖原病	-		306 好酸球性副鼻腔炎	13
	257 肝型糖原病	-		307 カナバン症	-
	258 ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	-		308 進行性白質脳症	-
	レシチンコレステロールアシルトランス	-		309 進行性ミオクロヌステんかん	-
	259 フェラーゼ欠損症	-		310 先天異常症候群	-
	260 シトステロール血症	-		311 先天性三尖弁狭窄症	-
	261 タンジャー病	-		312 先天性僧帽弁狭窄症	-
	262 原発性高カイロミクロン血症	-		313 先天性肺静脈狭窄症	-
	263 脳髄黄色腫	-		314 左肺動脈右肺動脈起始症	-
	264 無βリポタンパク血症	-		315 ネイルパテラ症候群	-
	265 脂肪萎縮症	-		(爪膝蓋骨症候群)/LMX1B関連腎	-
	266 家族性地中海熱	-		316 カルニチン回路異常症	-
				317 三頭酵素欠乏症	-
				318 シトリン欠乏症	-

根拠	給付項目		合計	根拠	給付項目		合計	
国 医 療 費 助 成	法 に 基 づ く 指 定 難 病	319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠乏症	-	国 医 療 費 助 成	328	前眼部形成異常	-
		320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠乏症	-		329	無虹彩症	-
		321	非ケトーシス型高グリシン血症	-		330	先天性気管狭窄症	-
		322	β-ケトチオラーゼ欠乏症	-	※1	スモーン		1
		323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠乏症	-		劇症肝炎		1
		324	メチルグルタゴン酸尿症	-		重症急性膵炎		-
		325	遺伝性自己炎症疾患	-		プリオン病(ヒト由来乾燥硬膜移植によるクロイツフェルト・ヤコブ病に限る)		-
		326	大理石骨	-	※2	先天性血液凝固因子欠乏症等		11
327	特発性血栓症 (遺伝性血栓性素因によるものに限る)	-						

※1 国研究事業対象疾病

※2 特殊医療費等助成

第5 公害保健

文京区は昭和49年11月30日以来、公害健康被害補償法（昭和63年3月1日から「公害健康被害の補償等に関する法律」に改題された。）に基づく第一種地域（大気汚染による健康被害地域）に指定されていたが、大気汚染状況の変化を踏まえ、昭和63年3月1日に全ての第一種地域の指定が解除されたことにより、新たな健康被害者の認定は行われなくなった。被認定者に対する補償は、従前どおり継続する。

昭和47年10月から、18歳未満の新たな健康被害者については、東京都条例に基づく認定を行っており、平成20年8月から気管支ぜん息に限り対象年齢が全年齢に拡大された。

しかし、平成27年4月より、再び新規認定者は年齢18歳未満に限定された。

1 公害健康被害の被認定者の認定更新

認定の有効期間内に指定疾病（気管支ぜん息・ぜん息性気管支炎・慢性気管支炎・肺気しゅ）が治る見込みがないときは、被認定者の申請に基づき文京区公害健康被害認定審査会の答申を受けて認定の更新を行っている。

なお、認定は認定疾病により有効期間が定められており、ぜん息性気管支炎については2年、その他については3年となっている。

公害健康被害の補償等に係る認定申請並びに認定状況

	合 計	15歳未満			15歳以上															性 別		
		0歳 〜 4歳	5歳 〜 9歳	10歳 〜 14歳	15歳 以 上 計	15歳 〜 17歳	18歳 〜 19歳	20歳 〜 24歳	25歳 〜 29歳	30歳 〜 34歳	35歳 〜 39歳	40歳 〜 44歳	45歳 〜 49歳	50歳 〜 54歳	55歳 〜 59歳	60歳 〜 64歳	65歳 〜 69歳	70歳 以 上	男	女		
被認定者数 (A+B)	2,606	1,453	524	621	308	1,148	54	23	66	71	99	82	66	78	75	68	128	116	227	1,498	1,108	
申 請 者	総数	2,409	1,415	518	604	293	994	46	19	44	43	56	59	58	68	73	67	127	113	221	1,397	1,012
	取下	61	34	9	14	11	27	3	1	4	1	1	2	1	-	2	3	2	3	4	38	23
	実人数	2,348	1,381	509	590	282	967	43	18	40	42	55	57	57	68	71	64	125	110	217	1,359	989
処 分 内 容	認定(A)	2,337	1,379	509	589	281	958	43	18	40	41	55	57	57	68	71	63	123	109	213	1,352	985
	否決	11	2	-	1	1	9	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	2	1	4	7	4
	未決	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
転入者(B)	269	74	15	32	27	190	11	5	26	30	44	25	9	10	4	5	5	7	14	146	123	

※ 平成30年3月末現在の被認定者実人数376人（被認定者数合計－資格喪失者数合計）

※ 申請・認定・転入状況（申請・転入時年齢別）

※ 昭和49年12月～平成30年3月末累計

資格喪失状況（喪失時年齢別）

	合計	15歳未満			15歳以上															性別	
		0歳	5歳	10歳	15歳	18歳	20歳	25歳	30歳	35歳	40歳	45歳	50歳	55歳	60歳	65歳	70歳	男	女		
		4歳	9歳	14歳	17歳	19歳	24歳	29歳	34歳	39歳	44歳	49歳	54歳	59歳	64歳	69歳	以上				
資格喪失者数	2,230	648	44	216	388	1,582	272	112	189	112	80	64	37	44	41	28	45	48	510	1,304	926
治ゆ	58	16	1	2	13	42	11	3	6	4	1	2	2	1	-	-	1	1	10	39	19
期限切れ	1,150	487	16	157	314	663	234	97	137	59	30	29	16	12	14	5	6	2	22	727	423
更新否決	10	6	-	3	3	4	-	1	1	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	6	4
転出	431	137	26	54	57	294	25	9	41	47	45	28	16	23	15	7	8	7	23	218	213
死亡	581	2	1	-	1	579	2	2	4	2	4	5	2	8	12	15	30	38	455	314	267

※ 昭和49年12月～平成30年3月末累計

遺族補償の認定審査状況（過去5か年度）

	合計	遺族補償費及び葬祭料	遺族補償一時金及び葬祭料	葬祭料のみ	特級	1級	2級	3級	級外	100%	75%	50%	0%
平成25年度	2	-	2	-	-	-	1	1	-	-	1	-	1
平成26年度	2	2	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2	-
平成27年度	2	-	2	-	-	-	1	1	-	-	-	-	2
平成28年度	3	1	2	-	-	-	3	-	-	2	-	-	1
平成29年度	3	1	1	1	-	-	1	2	-	1	-	2	-

疾病・障害等級別認定状況

		合 計	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	性 別		
			歳 29 歳	歳 34 歳	歳 39 歳	歳 44 歳	歳 49 歳	歳 54 歳	歳 59 歳	歳 64 歳	歳 69 歳	歳 以 上	男	女	
認定者実人数		376	-	16	51	61	54	42	24	13	22	93	197	179	
疾病・障害等級別	気管支ぜん息	合計	366	-	16	51	61	54	41	24	13	22	84	196	170
		特級	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		1級	3	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	2	1
		2級	42	-	-	-	-	1	4	4	3	4	26	14	28
		3級	229	-	9	32	40	29	27	16	10	16	50	121	108
		級外	92	-	7	19	21	24	10	3	-	2	6	59	33
	ぜん息性気管支炎	合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		特級	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		1級	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		2級	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		3級	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		級外	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	慢性気管支炎	合計	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	7	-	8
		特級	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		1級	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		2級	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
		3級	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	5
		級外	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2
肺気しゅ	合計	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	
	特級	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	1級	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	2級	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	3級	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	
	級外	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
障害等級別	特 級	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	1 級	3	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	2	1	
	2 級	43	-	-	-	-	1	4	4	3	4	27	14	29	
	3 級	236	-	9	32	40	29	28	16	10	16	56	122	114	
	級 外	94	-	7	19	21	24	10	3	-	2	8	59	35	

平成 30 年 3 月末現在

認定患者数及び疾病・等級内訳推移表（過去5か年度）

	認定者 実人数	資格状況		疾病別内訳				等級別内訳				
		転入者	資格喪 失者数	気管支 ぜん息	ぜん息 性気管 支炎	慢性 気管 支炎	肺気 しゅ	特級	1級	2級	3級	級外
平成25年度	△6	5	11	(95.6)	(-)	(3.2)	(1.2)	(-)	(0.7)	(12.7)	(61.8)	(24.8)
	408	246	2,175	390	-	13	5	-	3	52	252	101
平成26年度	△3	9	12	(96.1)	(-)	(2.7)	(1.2)	(-)	(0.8)	(12.8)	(61.2)	(25.2)
	405	255	2,187	389	-	11	5	-	3	52	248	102
平成27年度	△6	5	11	(97.0)	(-)	(2.5)	(0.5)	(-)	(0.8)	(12.0)	(61.7)	(25.5)
	399	260	2,198	387	-	10	2	-	3	48	246	102
平成28年度	△15	4	19	(97.1)	(-)	(2.4)	(0.5)	(-)	(0.8)	(11.2)	(62.5)	(25.5)
	384	264	2,217	373	-	9	2	-	3	43	240	98
平成29年度	△8	5	13	(97.4)	(-)	(2.1)	(0.5)	(-)	(0.8)	(11.4)	(62.8)	(25.0)
	376	269	2,230	366	-	8	2	-	3	43	236	94

上段：当該年度（上段）：構成比%

下段：累計（下段）：実数

等級見直し判定結果（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

		現等級				
		特級	1級	2級	3級	級外
判定結果	特級	-	-	-	-	-
	1級	-	3	-	-	-
	2級	-	-	40	1	-
	3級	-	-	1	239	-
	級外	-	-	-	1	-
	合計	-	3	41	241	-

2 公害健康被害者に対する補償給付

認定を受けた公害健康被害者に対し、法に基づき次の補償給付を行っている。

- ① 医療費 公害医療手帳を提示すると、指定疾病に係る治療が無料で受けられる。
 - ② 障害補償費 15歳以上で、一定の障害を有する者に対して定期給付を行う。
 - ③ 児童補償手当 15歳未満で、一定の障害を有する児童を教育している者に対して定期給付を行う。
 - ④ 療養手当 月毎の診療日数に応じて手当の支給を行う。
 - ⑤ 遺族補償費
 - ⑥ 遺族補償一時金
 - ⑦ 葬祭料
- } 指定疾病に起因して死亡した遺族に対して、定期給付又は一時金による補償と葬祭料の支給を行う。

公害健康被害補償給付実績（過去5か年度）

	医療費	障害補償費	児童補償手当	療養手当	遺族補償費	遺族補償一時金	葬祭料	合計
平成25年度	130,538,447	298,704,610	-	17,779,400	22,167,850	5,437,800	542,000	475,170,107
平成26年度	124,048,702	294,289,720	-	16,287,400	21,097,900	-	615,000	456,338,722
平成27年度	124,359,438	289,643,350	-	15,400,300	19,130,650	-	-	448,533,738
平成28年度	123,433,635	287,099,940	-	14,269,200	17,265,550	5,457,600	1,290,000	448,815,925
平成29年度	121,896,233	282,639,590	-	12,844,400	14,807,650	10,832,400	983,000	444,003,273

3 公害保健福祉事業・健康被害予防事業

公害健康被害認定患者等の健康を回復するとともに健康被害を予防するため、福祉・予防事業を次のとおり実施している。

(1) 呼吸器健康講座（リハビリテーション）

公害健康被害認定患者等を対象に呼吸器健康講座を開催し、医師、理学療法士等による知識普及及び療養上の指導を行っている。

	実施回数	参加延人数
平成25年度	4	106
平成26年度	4	113
平成27年度	4	99
平成28年度	4	79
平成29年度	4	126

(2) 家庭における療養指導

保健師が公害健康被害認定患者の家庭を訪問して、保健指導・日常生活指導を行っている。

家庭療養指導数

	1級	2級	3級	級外	合計
平成25年度	-	28	1	-	29
平成26年度	2	15	-	-	17
平成27年度	2	21	-	-	23
平成28年度	2	20	-	-	22
平成29年度	1	16	-	-	17

(3) インフルエンザ予防接種費用助成事業

文京区で公害認定を受けている方を対象に、インフルエンザ予防接種費用の自己負担分を助成している。

	対象者人数	実施延人数
平成25年度	412	145
平成26年度	407	142
平成27年度	401	132
平成28年度	394	131
平成29年度	382	126

(4) ぜん息児水泳教室

4歳から小学3年生までのぜん息症状を有する児童を対象に水泳による呼吸機能訓練を行っている。

場 所：文京スポーツセンター

期 間：①前期 5月～6月 毎週水曜日（8日間）

②後期 9月～10月 毎週水曜日（8日間）

	前期	後期	合計
平成25年度	252	249	501
平成26年度	226	224	450
平成27年度	191	214	405
平成28年度	206	221	427
平成29年度	前期後期の区分なし		*73

(延参加人数)

*平成29年度は文京スポーツセンターの改修のため、文京区立窪町小学校のプールで8月7日～10日まで4日間実施。実施場所が小学校のプールのため、参加児童の安全を考慮し、対象を小学1～3年生とした。

なお、対象とならなかった就学前の子どもたちのフォロー事業として、アレルギー予防講演会を実施した。

実施日：平成30年2月17日(土)

参加人数：28人

(5) アレルギー健康相談

15歳未満で小児ぜん息や湿疹等アレルギー症状のある乳幼児及び小児に対し、専門医の診察に基づき適切な生活指導・栄養指導を行い、発症予防ならびに健康の回復を図っている。

相談者数

	受診者	診察結果	
		要観察	終了
平成25年度	103	16	87
平成26年度	131	12	119
平成27年度	115	5	107
平成28年度	131	7	124
平成29年度	125	4	121
保健SC	64	2	62
本郷支所	61	2	59

(6) アレルギー講演会

アレルギー疾患への理解を深めるため、アレルギー疾患を持つ親子を対象にアレルギーに関する講演会等を実施している。

	実施回数	参加延人数
平成25年度	2	42
平成26年度	2	43
平成27年度	2	31
平成28年度	2	31
平成29年度	2	35

(7) ぜん息と慢性閉塞性肺疾患の予防等に関する講演会

疾患への理解を深めるために、区民を対象にぜん息や慢性閉塞性肺疾患の予防に関する講演会等を実施している。

	実施回数	参加延人数
平成27年度	1	24
平成28年度	1	30
平成29年度	1	30

(8) プール使用券の支給

健康回復・増進のために水泳訓練を希望する区内在住の公害健康被害認定患者及び小学生以上の大気汚染障害認定患者に対して年間一人 50 回の範囲で、区立体育施設のプール使用券を支給している。

	支給延人数	使用回数
平成 25 年度	189	742
平成 26 年度	171	789
平成 27 年度	170	736
平成 28 年度	148	865
平成 29 年度	104	530

4 大気汚染健康障害者の認定

東京都は、「大気汚染に係る健康障害者に対する医療費の助成に関する条例」(昭和 47 年)に基づき、慢性気管支炎・気管支ぜん息・ぜん息性気管支炎・肺気しゅの患者に対し、医療費(自己負担分)の助成を行っている。

年齢 18 歳未満で都内居住歴 1 年以上(3 歳未満は 6 か月以上)の者を対象としてきたが、平成 20 年 8 月より、気管支ぜん息に限り対象年齢が全年齢に拡大された。

しかし、平成 27 年 4 月より新規認定は年齢 18 歳未満都内居住歴 1 年以上(3 歳未満は 6 か月以上)に限定された。

特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例により、申請受付、新規・更新審査等の事務を区で行っている。

	0~17 歳	0~19 歳	20~39 歳	40~59 歳	60~74 歳	75 歳以上	合計
平成 25 年度	94	146	312	495	274	168	1,395
平成 26 年度	77	122	337	554	291	185	1,489
平成 27 年度	65	90	329	570	294	204	1,487
平成 28 年度	55	66	291	535	282	199	1,373
平成 29 年度	46	47	221	539	266	202	1,275

*0~17 歳は内数

*年度による内訳は各年度末現在の実年齢